

一連の活動を 意識することが 大切な 学級活動(1)



学級会と聞くと、話し合い活動の場面を思い浮かべることが多いと思います。実はそれはほんの一部でしかありません。学級会を行うための事前の活動、折り合いをつけながら合意形成を図る話し合い活動、学級で決めたことを実践する活動、実践まで含めたそれまでの活動の振り返りがあるのです。この事前から事後までの活動を一連の活動と言います。みんなで話し合って、みんなで一緒に活動するよさや楽しさを、一連の活動を通して経験させています。

学級会の基本的な流れとは？

議題について、提案理由をもとに一人一人が考え意見を出し合います。多様な考え方や価値観を共有化しながら、学級として折り合いをつけて意見をまとめたり、合意形成を図ったりします。そのための基本的な流れが「出し合う」→「くらべ合う」→「まとめる」です。

学級会をしよう～事前活動編～

- ・議題の選定と決定
集まった議題から、学級の全員で話し合うべきものかどうかを司会グループで考え、学級の全員に提示し決定します。
- ・計画委員会との打ち合わせ
司会グループ+提案者を計画委員会とし、提案理由や話し合うことを決め、学級会の進め方の計画を立てます。
- ・学級会ノートへの記入
選定された議題や提案理由、話し合うことをもとに、一人一人が自分の考えを書きます。

Tokkatsu 学級会の 流れを 知ろう 特集 *style*

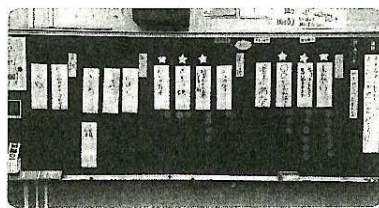
ONE FOR ALL
ALL FOR ONE

学級会をしよう ～出し合う編～

「出し合う」の段階では、一人一人が議題や提案理由に沿った意見を、理由とともに発表します。自分がしたいことではなく、学級のことを考えた意見が出せるよう、事前指導をしています。学級会ノートを活用し、自分の考えをしっかり形にしておく、本番でも意見が発表しやすいと考えています。

提案理由が意見を まとめる拠り所

様々な意見が出ると、まとめるのが難しくなります。そんなときに立ち返りたいのが提案理由です。何のための話し合いをしているのか全員で確認することで、よりふさわしい意見を見いだすことができます。提案理由が大切だと理解している分、その言葉が複雑になり学級全員に浸透しないことがあります。こだわることも大切ですが、みんなにとって分かりやすくすることも心がけています。



学級会をしよう ～まとめる編～

それぞれの意見のよさを大切にしながら、提案理由に合ったよりよい意見を見いだします。最終的に折り合いを付けて合意形成を図り、学級全体の総意として決めるのが、この「まとめる」の時間となります。

学級会をしよう ～くらべ合う編～

「くらべ合う」の段階では、出された意見について賛成意見や反対意見を理由とともに述べる時間です。意見の共通点や相違点を確かめたり比べ合ったりしながら、意見の分類・整理を行います。



小平教育委員会「とっかつだより①」より抜粋



特別活動指導資料等作成委員会が発行された「とっかつだより①」をもとに、学級会の基本の流れがどういうものが紹介しています。